

本紙は、見張隊エーグル04のカメラの設置方法について、説明します。

IPカメラは水の浸入に対する保護等級 IP66 相当(あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない)の仕様を有しており、風雨にさらされても問題はなりません。長く大切に给您使用いただくために、雨や日差しを避けた設置環境(軒下など)をお勧めします。

カメラを設置する際、地域の条例やガイドラインに従って設置してください。撮影箇所により、許可・届出等が必要な場合があります。ドームカメラは非防水の為、必ず屋内、かつ水が掛からない場所に設置してください。

カメラ・録画装置の設置の際は、下記の注意事項をお読みください。

1. 注意事項

・ 設置する際の注意事項です。よくお読みください。

警告

- ⊘ 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けしないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けしてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
- ⓘ 壁面内の配線や配管(ガス管・水道管等)を傷つけないように取り付けしてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
- ⊘ AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ⊘ 専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⓘ 本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因となります。
また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。
- ⓘ 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店が弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- ⊘ カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- ⓘ 壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⓘ モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
- ⊘ カメラを次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ 火気のそば
 - ・ 油飛びや湯気が当たるような場所
 - ・ 不安定な場所
 - ・ ほこりが多い場所
 - ・ 極度に振動が激しい場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ 強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
 - ・ 極度に高温や低温になる場所
 - ・ 直射日光が当たるところ

正しく設置するために

- ・ カメラを正しく設置するために、ネジの取り付け位置をあらかじめご確認ください。
- ・ 同梱品のケーブルの長さは約 15m です。ケーブルの長さに合うように設置してください。
15m 以上の場所に設置する場合、ケーブルの届く範囲で電源アダプタを差し、LAN ケーブルはハブ等を介して延長してください。

2. カメラの部品

・ カメラの箱の中に次の部品が入っています。

万一、不足や損傷しているものがあるときは、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社へご連絡ください。



カメラ(IPカメラ/ドームカメラ)×1



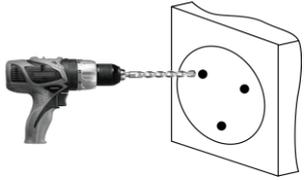
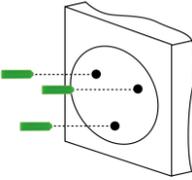
ネジ・アンカープラグ×各3



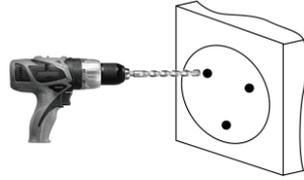
防水部材×各1

3. カメラの取り付け方法

3-1. IPカメラを壁に取り付ける場合

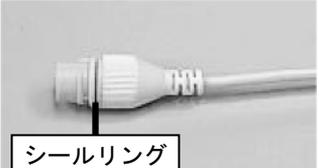
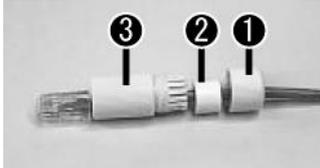
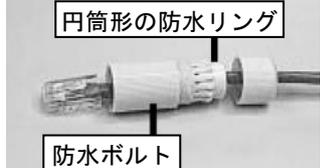
			 ロックナット
① カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。	② 壁に穴を開けます。 φ6~6.5mmのドリルビットを使用し、深さ30mmのガイド穴を開けます。	③ ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。	④ カメラを取り付ける前に、ユニバーサルジョイントを緩めるため、ロックナットを反時計回りに回して緩めます。
 ガイドの溝			 ロックナット
⑤ ケーブルをガイドの溝からケーブルを出します。	⑥ ベースのガイド穴を通し、ドライバーでネジを締めて壁に密着させます。	⑦ 必要に応じて、ユニバーサルジョイントの開閉部を調整し、カメラ向きを変えます。	⑧ ロックナットを時計回りに回して締めます。

3-2. ドームカメラを壁や天井に取り付ける場合

		 ネジを入れる 溝から出す	 向きを調整
① カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。	② 壁に穴を開けます。 φ6~6.5mmのドリルビットを使用し、深さ30mmのガイド穴を開け、アンカープラグを押し込んで入れます。	③ ドームカメラの底部の溝にネジを入れ、矢印の方向にドームカメラを回して固定します。	④ 必要に応じて、カメラ向きを変えます。

4. ケーブルの防水方法

- ・LANケーブルおよび電源端子の接続部が濡れる可能性がある場合、市販の自己融着テープを巻いて防水します。(下記⑦)
- ・LANケーブルを延長等により自作する場合、コネクタを付ける前に付属の防水部材を取り付けることができます。(下記①~⑥)

 シールリング	 ③ ② ①	 円筒形の防水リング 防水ボルト	
① 防水コネクタにシールリングを取り付けます。	② LAN端子に、防水部品を番号順に挿入します。	③ 円筒形の防水リングを、防水ボルトの中に挿入します。	④ コネクタの中にケーブルを挿入し、防水ボルトをねじ込みます。
 防水ボルト蓋		 電源接続部 LANケーブル接続部	
⑤ 防水ボルト蓋に、ねじ込みます。	⑥ LAN端子の防水処理を完了します。	⑦ 電源接続部およびLANケーブル接続部を、市販の自己融着テープを巻いて防水します。	

お問い合わせ 株式会社 レッツ コーポレーション

■本社 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル TEL: 052-201-6230 FAX: 052-201-5050
 ■サービス TEL: 052-209-7860 FAX: 052-201-5050
 ■東京営業所 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F TEL: 03-3546-0889 FAX: 03-3546-0941
 ■大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F TEL: 06-6151-5749
 ■URL <http://www.lets-co.jp/lets/>